

## <Infinity ~信じる仲間と駆け抜けろ~>体育祭9月5日(土)実施

台風9号と10号の間となった5日、前日の準備は雨天のためほとんどできませんでした。この日は朝から天候に恵まれ、体育祭を開催することができました。コロナ禍にあって、入場制限をした中での開催となりましたが、縮小した中でも盛り上がった体育祭となりました。生徒たちもそれぞれの学年なりに感動した様子が伝わってきました。感想をいくつか紹介いたします。(学年だよりから抜粋しました)

★体育祭を終えて、思ったことが3つあります。

1つ目は、体育祭をすることにより、学年を越えて仲良くできたことです。

2つ目は、今回の体育祭が今までで一番楽しかったということです。

3つ目は、『こうやっていろいろな行事が終わっていくのか』と感じたことです。残す行事も卒業式を入れて3つぐらいです。卒業に近づく中、『この一瞬でも大事な時間なんだ』と感じました。

これからの行事も先輩としての姿を見せて、今までより最高のものにしたいです。また、みんなと過ごす時間を大切にしたいです。(3年)

★「勝つのは絶対俺たちだ。」こうして応援が始まった。

初めて応援団に入り不安だった毎日、約2週間前に始まった戦い。不安を先輩たちが消してくれ、少しずつ自信がついてきた。他の練習も始まった1週間前、ソーランで疲れ、応援でバテた初日。でも、だんだん体力がついてバテなくなってきた。毎日、体力を使い木曜日ぐらいには疲れている人もいたが、みんな頑張っていた。その姿を見ると私も頑張ろうと思えた。みんなの声も日を重ねるにつれ、大きくなり、スマイルは本当に幸せそうなスマイルだった。それを見て、私は応援団員になってよかったと思った。放課後にミーティングをし、よかったところ直すところを話し合った。一生懸命頑張っている3年生を見て、胸が熱くなった。私たちの応援は負けたが、得たものがたくさんある。そして、仲間を信じあう絆を感じた。(2年)

★今回の体育祭で、男女でソーラン節を行い、昨年よりも教える人数が増え、3年生はとても大変だなと思いました。放課後、一生懸命練習をしていて、丁寧に私たちに教えていただきました。そんなソーラン節は、私だけでなくみんなが達成感を感じていたようです。通し練習を終えた後、全員が拍手をする姿に、私はとても感動し、自然と拍手ができるのは、みんなが団結できている証拠だと思いました。(1年)



### ＜稲刈り体験＞9月15日（火）実施

春の田植えはやむを得ず中止しましたが、コロナによる学校の新しい生活様式が定着しつつある中、感染防止対策をする中で、1年生が稲刈り体験をしました。準備から当日のご指導、昼食のお世話など、板仕野区の区長様をはじめ多くの皆様に大変お世話になりました。貴重な体験をありがとうございました。



### ＜トライやる・ウィーク＞9月15日（火）～17日（木）実施



例年の5日間を、今年度は3日に短縮して行いました。しかも、学校ごとに実施日が異なります。複数校からの受け入れをされている事業所には、例年以上にご迷惑をおかけしました。各事業所ともコロナ対策で大変なところをお引き受けいただき感謝申し上げます。

また、各ご家庭におかれましては、準備や日誌へのご記入などありがとうございました。学校とは違う緊張感や慣れない仕事で疲れているところを、しっかりサポートしていただきありがとうございました。

30日（水）に予定している発表会に向けて準備中です。ご都合をつけていただき、ぜひご参加をお願いいたします。

### ＜但馬中学校秋季陸上競技大会＞9月23日（水）実施、22名参加

約2週間、平日の朝・放課後練習、さらに、土日・祝日を返上して練習を重ねてきました。22名も参加している学校は、陸上部がある学校以外ではありません。それだけ生徒のやる気が充実していると嬉しく思います。また、何ととっても、進んで練習し自分を磨こうとする姿、当日も力を出し切る姿に感動しました。3位までの入賞者です。

共通女子800m 第1位 3年 井上真里愛      3年女子走幅跳 第3位 3年 田中優奈

1・2年女子砲丸投 第2位 2年 西谷悠希      1・2年男子砲丸投 第2位 2年 藤岡 遼

1・2年男子砲丸投 第3位 2年 森下 亮

### ＜体罰等によらない子育てを広げよう！＞

児童虐待については、児童相談所への相談対応件数が最近10年間で約4倍に増加するなど、極めて深刻な問題になっています。

それを受け、文部科学省は、令和元年11月の児童虐待防止推進月間を機に、萩生田文部科学大臣から、子供たちの育ちに関わる全国の家庭・学校・地域の皆さまに対して、児童虐待の根絶に向けたメッセージを発表しました。（文科省HP）

また、令和2年4月から「児童虐待の防止等に関する法律」が変わり、厚生労働省から、「体罰等によらない子育てを広げよう！」というパンフレット（別紙A4版両面印刷）が出されています。

学校でも職員研修を実施し、体罰や行き過ぎと思われるような指導がないように徹底しているところですが、各ご家庭におかれましてもパンフレットをご一読いただき、お子様の健やかな成長・発達につながりますようよろしくお願いいたします。